

松本市市民活動 サポートセンター通信

No.4

発行元 松本市市民活動サポートセンター
〒390-0874 松本市大手 3-8-13
松本市役所大手事務所 2階
TEL/FAX 0263-88-2988
E-mail support-center@support-center.jp
URL http://www.support-center.jp



サポートセンター自主事業活動報告



障がい者支援団体交流会

6月21日、サポートセンター主催の「障がい者支援団体交流会」には市内で活動する13団体と、行政サイドからは、オブザーバーとして障害・生活支援課から参加がありました。また、今回から広く市民の皆さんにも活動を知っていただくため、分野別交流会に合わせ、特設展示コーナーを1ヶ月併設しました。

当日の交流会は、「ケ・セラ」(次ページ CLOSE UP に団体紹介)の演奏「カントリーロード」で始まり、会場は一気に和やかな空気に包まれました。つづく、参加団体による活動発表からは、障がいを持つ人もそうでない人も、共に助け合って生活できる社会を目指していることが伝わってきました。また、集い、住まう場である憩いの家やグループホームなど、社会に不足しているものを自ら作ってきた皆さんのお話しには、熱い思いが感じられました。そして、その活動のスタンスはそれぞれの名称に現れています。松本地域精神障害者家族会連絡協議会は月1回「ありのままでもいいじゃんかい」と題した食事会を開催し、相談と親睦の場になっています。カフェギ



ャラリー「てくてく」は表現の場を提供し、その人らしい可能性を発揮するよう呼びかけています。盲学校卒業生の就労の場としてスタートした授産施設「ふれっ手」は、手を触れ合うことが関係を作る第一歩ということで“ふれっしゅ”と名付けられました。

社会参加のあり方がこの分野の大きなテーマであり、活動は就労支援に広がりを見せ、働く場、働く機会づくりが一步一步進められてきました。そんな中、4月から自立支援法が改正、作業所等の施設利用者も負担増という状況は、さらに大きな課題を突き付けています。今以上に給料を増やすのにはどうしたらよいか?の悩みの声も上がりました。製品開発や働き方に更なる工夫が求められています。

勉強会を定期的に開くなど、既に連携の動きがあったこの分野ですが、今回の交流会では、協働事業など具体的な連携への要望もあがり、ネットワークに益々期待がかかります。

あちらこちらから聞こえていた一つひとつの音が次第に重なり合ってひとつのメロディーが奏でられる時が楽しみです。(黒岩さおり)

団体活動紹介コーナーを新設!

6月11日～7月9日(日)までを「障がい者支援」キャンペーン期間として、センターの一角に特設展示コーナーをつくり、障がい者支援団体の活動の様子やメッセージなどをパネル展示。市民の皆さんにも活動を広く知っていただける良い機会になりました。

次回は…環境分野の交流会：8月23日(水) (予定)
展示期間：8月20日(日)～9月17日(日) (予定)
どうぞ一度お立ち寄りください。



NPO法人 信州まつもと山岳ガイド協会やまたみ

「山は水の生まれるところ。その水が汚れたら、森が減って保水が出来なくなったら、下流に住む私たちにも影響が出てくる。山の民“やまたみ”とは、山からの恩恵を受け生きている私達すべてのことなのである。」

主に上高地というフィールドで活動し続けている、NPO法人 信州まつもと山岳ガイド協会“やまたみ”は、自称“自然案内人”と言うようにスタッフの石塚さんをはじめ、山岳ガイドのプロの集まりだ。その特性を活かし、遊園地のようなアトラクションの無い自然の中で、ただ歩き回ってそこでどれだけ楽しめるかを追求している。

もともとは96年冬に、石塚さんが上高地の山小屋で越冬しながら仲間と話した「この自然が続けばいいね」という想いからはじまった。2005年4月にNPO法人となり、活動もメインのガイドから“清掃登山などでのゴミ対策”“携帯トイレ持参の推進”“市制100周年記念イベント”や「岳都会議」などを介した行政との協働”など多岐にわたるようになる。最近では、依頼を受け、小・中・高校へ出向き安全な登山のノウハウを教えている。「自然



から、癒しの場を与えられますよね。水や澄んだ空気も。そのことに気づいて、感じて、学んで、そして私たちからも自然に対し、還していくこと」それを踏まえて「とおりのガイドでなく、個々が自然から感じたものを“翻訳”し、“通訳”していくのが理想」という。

今後は、新たなガイド・指導者の人材育成にも力を入れていく計画である。

近年流行の熟年登山家について質問を向けると、「たくさん登っていただきたいですね。ただし、無理をせずに」「やっと仕事を終えて、次の人生、自分がどれだけ頑張れるか確認にくるわけですから。とにかく安全に無事登って、よい思い出だけを持って帰ってもらいたいですね。」山を愛する石塚さんの言葉が印象に残った。(小池史子)

やまたみネイチャーガイド養成講座

特別編
＜鷲・鷹の渡りの観察会＞

- ◆日 時：9月16日(土)
- ◆場 所：松本市奈川
白樺峠
- ◆問合せ：〒390-0804
長野県松本市横田 4-27-22
NPO法人 信州まつもと
山岳ガイド協会やまたみ
- ◆TEL/FAX：0263-34-1543
E-Mail：info@yamatami.com
http://yamatami.com/



松本市ボランティアセンターより ☆ごあんない☆

☆夜間ボランティアセミナー 第3弾

掘 六平さんをお招きして
“見直したい、心のうるおい”
と題して

堀さんのボランティア体験トークを
聴きます。童謡・唱歌も交えた
歌の夕べを過ごしませんか？

- ◆日 時：7月28日(金) 18:30～
- ◆場 所：松本市総合社会福祉
センター 4F
- ◆参加費：500円
- ◆問合せ：松本市ボランティア
センター
- ◆TEL：0263-25-7311



☆夏休み小中学生福祉体験 「Let's夏体験」 実施要綱

- ◆目 的：小中学生の児童・生徒がいろいろな体験を通じ、
楽しみながら地域福祉やボランティアに関心を持つ機会とする。
- ◆期 日：
 - ①7月29日(土) 9:30～12:30「災害に関心を持つ体験」
南部保健センター、参加費 300円(材料及び保険)
 - ②7月31日(月) 9:30～12:30「園芸を楽しむ体験」
南部保健センター、参加費 300円(材料及び保険)
 - ③8月1日(火) 9:00～14:30「地球のエネルギーを考える体験」
東電梓川テプコ館(南部保健センター前に集合)
参加費 300円(材料及び保険) お弁当
- ◆全3回シリーズ ※参加は1回のみでも3回全部でも可
- ◆参加者：市内の小中学生(小学生低学年は保護者同伴)
- ◆申込・問合せ：松本市ボランティアセンターまで
- ◆TEL：0263-25-7311



今回は、最近法人格を取得し、ますます活発な活動をされている「やまたみ」「ケ・セラ」両団体にお話を伺いました。

NPO法人 ケ・セラ



音楽を通して社会参加を目指す「楽団ケ・セラ」。サイトウキネンフェスティバルなどプロの音楽家を多く目にするうちに、「障がいを持つ人が音楽家として生活する道があってもいいんじゃないか。」そう考えたのがはじまりになった。もともとホールでマンドリンやギターのコンサート活動をしていた代表の中西さん。ある時、障がいをもつ息子に演奏の機会を与えてみたところ、コンサートの一部で健常者とのセッションではあったが、手ごたえを感じた。そこで、参加を呼びかけてみると5人が集まり、2002年10月「楽団ケ・セラ」の誕生となった。

ピアノやギター、ドラムなどで構成、パートごとに中西さんが吹き込んだテープを繰り返し聞き、毎日練習を重ねる。「将来的には彼らだけの独演会が出来たら…」と思い描いていたところ、その“将来”はすぐにやってきた。イベントでの演奏依頼が舞い込んだのだ。これがきっかけとなり依頼殺到。昨年は一年間で25回の演奏会をこなし、今年11月には第3回目の定期演奏会を迎える。曲目は“ビバルディの四季”から“世界に1つだけの花”までバラエティに富む。今では、メンバーも10人になった。

活動が活発になり嬉しい反面、安定した練習場所の確保が難しいという問題も。「来てくださる方に

は大変好評なのですが、これからどれだけ多くの方に、どう知ってもらおうかですね」と課題もあげる。

現在、演奏会に向けての練習に加え、松本大学の学生と連携して「楽団ケ・セラ」のDVDやホームページ作成プロジェクトも進行中。また、活動を通してメンバーと健常者との交流の機会も増えた。「楽団を始めてから以前より随分積極的になったんですよ」と保護者からもコメント。

中西さんは、「メンバー全員が知的発達障がいのある『楽団ケ・セラ』の演奏は、聞く人の心に熱く響きわたるような暖かな気分させてくれます。一度是非聞きに来てください。」と結んだ。(小池史子)

< 今後の予定 >

- ◆7月30日(日) 茅野市民会館にてコンサート
 - ◆9月18日(祝) 渚本郷敬老会
 - ◆10月14日(土)～15日(日) 松本大学学園祭
 - ◆11月25日(土) 音楽文化ホールにて
第3回定期演奏会
- ◆問合せ：NPO法人 ケ・セラ 中西 博
〒399-0031 松本市大字芳川小屋650-29
- ◆TEL/FAX：0263-57-6329



Q) NPOって何？

今号より連載！基礎から学んで賢く活用

豆知識 ①

A) 営利(利潤をあげること)を目的としない“市民の為の活動”を行う、“民間の団体”のこと。英語でNon-profit Organizationの頭文字。“民間非営利組織”と訳す。

“民間非営利組織”だからといってお金を儲けてはいけない

NPO＝ボランティア団体という誤解がありますが、それは間違いです。

NPOはボランティア団体も含まれますが、基本的には事業体です。

儲けがなくても関係者で配分せず、次の事業のためにそのお金を使うという組織なのです。

具体的には次の5つの要件を備えた団体が該当します。

- ① 市民公益活動を行う団体であること
- ② 会員の資格の得喪に関して不当な条件を付さないこと
- ③ 規約・会則等で代表者や運営の方法が決まっていること
- ④ 独立した組織で活動が継続的に行われていること
- ⑤ 暴力団もしくはその構成員の統制下になる団体でないこと

松本市では市民活動を行う自立的なグループ・団体などを「市民活動団体」と定義し、NPO(民間非営利組織)と同義で扱うこととしています。




参考文献：NPO基礎講座～市民社会の創造のために～ { 編集者：山岡義典 }

イベント・募集 (※お問合せ・お申込みは、各主催団体へ直接お尋ねください。)

なんでもあいの勉強会 NPO 法人ライフデザインセンター

- ◆日時：8月25日(金) 10:00～
- ◆内容：幸せな死を迎える
自分が希望する人生の最期を迎える準備
「リビングウィル」について考えてみる
- ◆講師：東昌寺副住職・看護師 飯島恵道


- ◆日時：9月26日(火) 13:30～ 
- ◆内容：愛する人をなくした時
親しい人と死別したときのグリーフケア
- ◆講師：牧師 大澤秀夫

- ◆場所：市民活動サポートセンター
- ◆問合せ：NPO 法人 **ライフデザインセンター**
松本相談窓口
- ◆TEL/FAX：0263-46-2020 久島和子

「子どもとこころをつなぐため・・・」講演・車座勉強会

「『悪いことをしてやろう』『親を困らせてやろう』
などと思って生まれてくる子は一人もいない。」水谷
先生(夜回り先生)講演会でのお話です。

今回、家族問題に照準を当てて活動されている弁護士
の伊藤芳朗先生のお話を、車座でざっくばらんに
お聴きしてみたいと思います。一緒の時間を
共有してみませんか？

- ◆日時：7月15日(土)
13:00～16:00(受付12:30～) 
- ◆場所：市民活動サポートセンター
- ◆対象：どなたでも(親・先生・学生・医療系等)
- ◆会費：¥500(18歳以下は無料)
- ◆問合せ：「子どもの心身共に健康な成長を願う親の会」
世話人：野見山ナオミ
- ◆TEL/FAX：0263-33-7257

世界に誇る江戸の知恵「打ち水大作戦」に参加しよう

全国各地で、熱い夏を冷ますために、
去年以上に熱い、打ち水の季節がやってくる！！
世界水フォーラムで世界の喝采を浴びた“打ち水大
作戦”江戸のライフスタイルは、環境問題を根本的な
解決に導く答えを現代の世界に示します。

- ◆日時：8月23日(水) 正午
- ◆場所：県内一斉
- ◆問合せ：勤労者ボランティアセンター
- ◆TEL：026-226-1882 FAX：026-291-5180



2006年度ボランティアサークル「交差点」メンバー募集

松本養護学校を中心に月1回、子どもと遊んでいま
す。1日だけでも可。1人でも多くの方の参加をお待ち
しています。

- ◆日時：月1回 19:15～20:30
(7月20日、8月24日、9月21日、10月12日、
11月16日、12月21日、1月11日、2月15日)
- *次回7月20日は、バスケットボールを使った遊び
- ◆場所：松本養護学校寄宿舎
- ◆持ち物：上履き、ジャージ、
ボランティア保険¥300(1年分)
- ◆問合せ：「交差点」小林 慶大
- ◆TEL：070-5587-4261 K070558@hotmail.com



もっと活用を！福祉アドバイス相談コーナー

ボランティアを始めたい方、現在の活動で
困っている事など、話してみませんか？

- ◆日時：毎週水曜日 13:30～16:45
- ◆アドバイザー：松本市社会福祉協議会
福祉アドバイザー 降幡 和彦
- ◆場所：市民活動サポートセンター受付



サポートセンターからのお知らせ・募集

松本市市民活動サポートセンターボランティア募集

- ◆絵を書くことが好きな方。
 - ◆人を集めることが得意な方。
 - ◆イベントをお手伝いしていただける方。
- ぜひ一度市民活動サポートセンターへ
お立ち寄りください。お待ちしております。



編集後記

当センターで行われる定期的な行事や
自主事業が少しずつですが増えてきました。
より身近なセンターになるようサポートセンター
通信にも力を入れていきたいです。
当情報誌の共同編集者も引き続き募集中。
よろしくお願いたします。(編)



ホームページご利用ください！！

情報大募集！こちらの **Information** コーナーに掲載したい情報などがございましたら、ご連絡ください。
センターHP <http://www.support-center.jp> も**随時更新中**。センター施設予約情報、イベント・助成金情報、
協働、NPOとは？などなど情報満載です。松本市公式HP<くるくるねっと>からもリンクしています。
ご利用ください！！

市民活動団体発信の[掲示板]をオープンしました！市民活動団体発信の各種「お知らせ」・「イベント
情報」・「募集情報」・「耳より情報」・「活動PR」など、[情報交換・掲示板]→[掲示板]に掲示して
います。できるだけ多くの方々にご覧いただき、便利に使っていただけたらと思っています。

